

境田「身の丈にあった健全な財政運営を」 総務課長「目標数値は立てている」



副議長
文教厚生常任委員

境田敏高

単年度収支は、3年連続赤字

地方自治体を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化、国から地方分権へと大きく変わりつつある。わが町はどうなのか。社会保障費の増加、地方交付税の縮小や積立金の減少傾向から、きわめてきびしい状況に進みつつあるのではないか。

わが町の実質単年度の収支は、平成28年度から平成30年度の3年間は連続しての赤字である。

町の貯金「積立金」は平成30年度の現在高は28億7,534万円である。中身は「財政調整基金」と「減債基金」「特定目的基金」の3種類があり、町が用途自由に使える金「財政調整基金」はどのように推移しているか。

(総務課長) H28年度は11億7,671万円、H29年度10億203万円、H30年度7億9,069万円である。令和元年度見込高は4億7,279万円である。

町の借金も増えている。10年前は51億3,138万円であったが、平成30年度現在高は68億2,843万円になっている。この金額には後で国が返済分を負担するものがあるので、さほど心配はないと言われるが、国は一括して返済するものではない。そこで返済用の交付税の交付期間を尋ねる。

(総務課長) 過疎対策事業債は70%が12年間、災害復旧事業債は95%が一部例外もあるが10年、その他の起債は、それぞれの事業債の償還年限、当町で借入れを行っているものについては、臨時財政対策債をはじめ、20年にわたり算入される。

借金返済の公債費は警戒ライン

借金を毎年返していく公債費は、H30年度6億5,985万円となっている。普通会計での公債費負担比率は10%を超えない方が望ましいとされているが、わが町の公債費負担は平成26年度から15%を超えている。

警戒ラインである。この件についてどのように考えているか。

(総務課長) 単年度の町債の償還額の増加が財政を圧迫し、財政の硬直化を招く一因となっている。今後、庁舎建設終了後は投資的経費を抑制することにより、町債発行額を抑え単年度の償還額の減少に努めていきたい。

今後、危機的な財政状況にならないように、事務事業の見直しを進めなければならない。聖域なき見直しを進めなければ、行財政運営を維持していくことが困難な状況になってくる。わが町の見直しの指針の策定はどのようにしているのか。

(総務課長) この数年行っていないが、3年から5年を目途に特に単独の補助金については、廃止を含めた見直しの検討をする必要はある。

負の資産を残さないためにも、身の丈にあった健全な財政運営をしていくためにも、将来負担率・経常収支比率・町の借金減等の目標数値は立てているか。

(総務課長) 町債残高を60億程度、経常収支比率を90%程度、財政調整基金残高を6億円程度確保することを目標数値としている。

インフラの老朽化に対して「どのように備えているか」

(町長) 橋梁の長寿命化計画、道路構造物、舗装、トンネル等の各維持管理計画を策定している。老朽化の度合いを基本にした優先順位に基づいて計画的な補修等を行っている。公営住宅は現在小原団地、樽々団地の改修に取りかかっている。学校等のその他の公共施設については、個別管理計画を本年度中に策定し、計画的な改修等を行っていく。

まとめ

町長の政治姿勢や政策で財政は大きく変わる。いつも町長は最少の経費で最大の効果をあげると明言されている。今後も厳しい財政運営が続くと思うが、改革プランをワンランク・ツーランクあげて、全力で財政改革に取り組むべきである。



一般質問

みなさんの生活にかかわる大切な内容について質問しました。



広報常任委員会委員長
文教厚生常任委員

中村正雄

SDGs (エスディーズ：持続可能な開発目標)

大牟田市は SDGs 未来都市に指定されたが、各課の取り組みは？

(町長) まちづくり課に南関町もかならずこういったことをしっかりと取り組む時期が来るからと指示を出していた。それぞれの課が SDGs に関係する仕事があるので、全職員に広がり、取り組んでいくことができればと考えている。



これから地方創生の第二期戦略シナリオ作りが始まるが、SDGs の手法を取り入れて作成するか？

(町長) 今の形のをそのまま使うのではなく、もっと進化させるような形、これからの新たな計画の中にあてはめていく、SDGs に宣言できるような取り組みに繋がりたい。

中村 「時代の流れに遅れないよう SDGs に取組むか」 「民生委員のなり手不足対策、適切な費用弁償か」



やっていけないことが「マークのマッピング」今までの目標に、SDGs 17 のマークを付けるだけの行為（マッピング）で、SDGs の考え方で新たに目標を作ることが必要。逆に新たに取られる手法が「アウトサイドイン思考」で、役場目線ではなく、町民目線や町外から目線で考えること。それと「バックキャスト」できることを並べるのではなく、2030 年にありたい姿を決め、そのために何をするかを決めていくこと。これらが取り入れられ、進んでいくかチェックしていく。

民生委員のなり手不足対策

今年選定された民生委員の構成と活動日数は？

(福祉課長) 7年前に比べて70代が増えて平均年齢69.8歳と5歳増えた。活動日数は大きな変動はない。

他町村のアンケートで、民生委員になって「地域の住民の手助けになっているというのを実感できたとき」「地域の住民の方から感謝の言葉をかけられたとき」にやってよかったなと感じるとある。一方「民生委員と聞いただけで、大変だから成りたくない」とイメージがある。正確に知ってもらうために民生委員の「見える化」への取り組みは？

(福祉課長) 町民の方が民生委員さ

んの活動を正確に理解してもらうために、広報誌やホームページなどに積極的に掲載していく。

地域での風土づくり

次の候補を育てるという意味で地域の風土づくりが大切。南関町には61の自主防衛組織があるが、避難勧告時にお手伝いが必要な高齢者や一人住まいの方達の救助マニュアル、具体的に誰が誰を助けると決まったモノはできているのか？

(総務課長) 作られているものと思うが確認できていない。福祉の関係もあるので、社協との協力も必要。具体的な名前を出してこそ、地域内で助け合いの精神が生まれてくるもの、課の垣根を越えて、自ら取り組んでほしい。

適切な費用弁償か

無報酬のボランティア活動であるが、活動日数、時間、移動の活動実費としての費用弁償はどうなっているか？

(福祉課長) 国から年に一度本人へ直接振り込まれる分と、町から民生委員協議会へ年間230万円を委託料として支払いしている。

民生委員の方達に実活動実態に対して費用弁償額として適切であるのか、現時点で改めて確認して欲しい。県内でも山都町は800万円、芦北町は767万円の委託料、または日当として美里町は1日2000円、西原町は2200円



一般質問

みなさんの生活にかかわる大切な内容について質問しました。

西田「町道尾田高久野線の道路改良工事の早期着工について」 「庁舎建設は身の丈に合った建設費を」



広報常任副委員長
総務産業常任委員

西田恵介

第二小学校前の町道改良工事、早期着工を

第二小学校付近から県道までが未着工となっているが工事の進捗状況、及び今後の計画について尋ねる。

(町長) 改良工事は平成22年度まで行っているが、その後は用地の取得が困難であり、現在に至っている。一昨年の町政懇談会でも質疑があり、用地取得が不透明であることや他の道路事業もあり、財源の確保が困難等で見合わせている。今後は事業の進捗状況を見ながら事業計画、財政計画を立て、取り組む必要があると考えている。

朝、通学時間と通勤時間が重なり、子どもたちが危険である。また、7月の大雨のときに医療機関の前が浸水しているが把握しているか。

(建設課長) 事業計画それから財政計画を立てながら進めていく。大雨で浸水したことは把握している。側溝の流れが悪いのが原因だと考えている。

通学路であり、また高齢者ドライバーも増えている中、早期に対応すべきではないか。

(町長) 小学校、医療機関もあるので調査を行い、安全性を高めるために早期に着工できるように取り組んでいく。



庁舎建設費用は当初予算内で

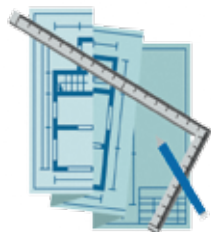
庁舎建設は当初予算の15億4千万円で建設できないのか尋ねる。

(町長) 現在の社会情勢の中で建設コストの上昇などにより増額せざるを得ないと判断している。

当初の設計金額は？

(総務課長) 設計ができあがったときは14億円。

14億円が上乗せとなり、財政に影響はないのか。



(総務課長) 一番効率のいい財源の確保、基本的には起債、庁舎建設の基金も決まっており、ほかの事業のほうの兼ね合いも見ながら財源の確保をやっている。

庁舎建設費以外の予算が削減されていると考えていいか。

(総務課長) 庁舎建設は必要であり、優先順位の低いものについては削減されている部分はある。

職員に対して意見を聞く機会があったのか。またどのような意見があったか。

(まちづくり課長) 職員部会があり、基本的に係長クラスの職員が各課より参加する庁内会議を実施した。多

かったのは休憩室、災害時の待機室、更衣室などの要望があった。

職員の中から予算をかけすぎではないかと不安の声を聞いたが。

(町長) 増額に伴い、やりたい仕事ができないということは聞いたことはない。担当課長を含め、報告は受けてない。

建設金額が上乗せされ、町民の方も不安に思っている。再度検討しては。

(町長) 庁舎建設、防災設備、道路計画を含め町民、職員が不安にならないようにして、今回の計画については、進めていくように考えている。

まとめ

第二小学校前の町道改良は、早めに課題をクリアして着工していただきたい。庁舎はまちのシンボルでなければならないと考えているが身の丈に合った建設費を再検討していただきたい。





総務産業常任委員
地方創生調査特別副委員長
有明広域行政事務組合議員

杉村博明

杉村「職員の人事評価は適正に行われているか!」 町長「人事評価制度が導入され、評価に取り組んでいる」

れるよう評価者である所属長への評価者研修及び新規採用職員研修等を行い、評価者による評価のばらつきが生じないように行い、決定についてはそれぞれの職員の自己評価と課長等管理職の評価を個別の面接により確認、評価についての説明を行うなど、非評価者の自己評価を尊重する仕組みとしている。

評価後の結果はどうだったか質問する。

(町長) 処遇反映については、これまでは給与等への反映は行っていないが、昇給、勤勉手当、昇格及び昇任に反映させるための検討を進めているところであり、能力を発揮した職員にむくいる制度の運用による組織職員の士気高揚を図り、住民サービスの向上に繋がるよう取り組んでいきたい。

適正な職員人事評価は

職員の人事評価が毎年行われているが適正な評価が行われているのか。

再任用職員の評価はどうされているか併せて伺う。

(町長) 職員の人事評価については、平成 26 年 5 月の地方公務員法の一部改正により平成 28 年 4 月から人事評価制度を元に、町でも人事評価制度マニュアルの作成を行い、取り組んでいるところである。

(町長) 再任用職員については任期が 1 年以内となっているため、現在のマニュアルでの人事評価は行っていない。



現在の町の人事評価制度は、評価項目を勤務態度評価、能力評価及び業績評価の三つとしており、導入に際しては平成 28 年 10 月から勤務態度評価及び能力評価の施行を行い、平成 29 年 10 月から業績評価を加えた三つの評価の施行を行ったところである。

再任用の更新については、再任用に関する条例第 3 条において再任用の任期の更新は職員の当該更新直前の任期における勤務実績が良好である場合に行うことが出来るものとして規定している。また、南関町職員の再任用に関する事務取扱要項第 5 条において、職員の勤務実績、健康状態、勤労意欲、常勤職員の配置状況及び業務管理上の必要性、その他の事情を総合的に勘案して選考を行うものと規定されていることから、職員が自分の業務を振り返る機会とするためにも再任用職員の人事評価についても一般職員の処遇反映等を参考にしながら、人事評価制度導入に向けて検討したい。

まとめ

この人事評価制度が新しく変わり立派な制度であるが、この制度が十分に活かされていないと住民に負担、つけが回ってくるような状況になる。公務員は全体の奉仕者（公僕）であることを肝に銘じて 1 職員として公務に励んで頂きたい。ここ数年ちょっと目に余る状況が続いており、一生懸命に仕事している職員と本当に仕事しているのか分からない職員といった状況が見受けられ、しっかりと管理職は評価制度を活かすべきである。他の町からすると、朝の挨拶も声が小さく、挨拶する者しない者がいるが、挨拶ぐらいいは堂々と大きな声でして頂きたいものだ。住民の方々も気持ちがいいはずである。今回の質問は最近役場の風紀が悪いから取り上げた。



その後平成 30 年 3 月に人事評価制度マニュアルを改定し、勤務態度評価及び業績評価は平成 30 年 4 月から能力評価は平成 31 年 1 月から 1 年間としている。

評価については適正な評価が行わ



北原「庁舎建設はもっと予算を抑えるべき」 町長「計画自体は変更なく進めていく」



地方創世調査特別委員長
文教厚生常任副委員長
広報常任委員

北原浩一郎

不登校で人生が終わるわけではない。前を向ける環境づくりが最優先

教育委員会は学校に行かせることが解決なのか、どのような方針を持って対応されているのかを尋ねる。

(教育長) 不登校生徒は、昨年度小中合わせて8人、本年度夏休み明け中学生のみ5人、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの面談や家庭との連携を深めながら対応している。以前は学校復帰を第一にしていたが、まずはその本人の自立に向けた支援を第一にしている。その中で学校復帰ができればベター。学校には卒業後も繋がりを保ちながらその後の生活の応援をしていただいている。

休憩時間を取る！その意識付けから学校の働き方改革は始まる

職員室の日課表には45分間の休憩時間が明示されている。実際、学校では昼休みに休めるような状況ではないのは理解している。あえて聞かすが、管理職から休憩時間を取る指導はなされているか。

(教育長) 学校は休憩時間が確保できず連続勤務になっている状況になっていると認識している。休憩時間が位置付けられている中で、それを取得するように指導しているかというところまでの意識は今とても薄いと思っている。例えば職員室の一角にゆっくり座れるようなソファを置くとか、そういうところから意識を変えていけたらいい。最終的には人をもっと多くしていただいて、交代制とか将来的には取り組めたら

と考える。

求人求職は マッチングが大切！

働く場の情報発信が足りない。新規採用、中途採用、短期労働、農作業など小さい町だからこそそのきめ細かな情報を町として持っておいて、それを求める人に提供するシステムが必要ではないか。

(町長) 町内在住者を正社員として雇用された事業所に対し、新規雇用奨励金の交付を行っている。また、町内企業と連携を図りながら親世代に対しても南関町にどのような企業があるのかを知っていただく必要があると考えている。



11億円→15億4千万円 →17億4千万円 予算は青天井ではない！

今年3月の定例会で庁舎建築費15億4,000万円が議決したが、11億円から4億円以上もアップしている。もっと予算を抑えるべきではなかったか。

(まちづくり課長) 基本設計をもとに実施設計を今年の2月末で完了した。実施設計は、町民のいろんな意見を集約してできている。その結果、予算に計上した15億数千万円という金額になった。

実施設計が11億円以内で収まるならばOKですよという話。4億円も上がるならもっと下げてくれという意見がたくさん出たと思うが。

(まちづくり課長) 庁舎建設については、窓口のまちづくり課が、町長等に報告し財政当局にも相談しながら主体的に計画を進めている。

(町長) 町民の皆さんの思い、これから町が進めるべきもの、町がずっと計画して協議してきたものが詰まっている。計画自体は変更なく進めていく。

まとめ

不登校生徒は次に進むためにも学力は必要。学習支援のさらなる対応を望む。

15億を超える予算計上の経緯、更なる2億円の追加補正予算計上の経緯。他の課の課長への共有があったのか。議論されたのか。進め方が不透明。専任の庁舎建設プロジェクトチームを作り進めてもらいたい。こう(入札不調)なるにはこうなるわけ(予算を横に置いた建設委員会運営。執行部内の協働不在。窓口の分散)があった。



生の声を聴く

商工会青年部



広報委員



広報委員会では、町民の皆さんからのさまざまな生の声を聴き、議員活動の活性化と住んでよかった町づくりの一助になればと考えています。

このコーナーは、登場団体の統一見解でなく、登場された方々の声であり、これ以外にもいろんなご意見があると捉えています。読んで頂いてから「こんなこともあるよ」「こうしたことも要望したい」など、登場された方々だけでなく、読んで頂いた方々の生の声も議会にたくさん届くことを期待して、このコーナーを始めました。



Q どんな団体？何をやっている団体？

- 2年に一度の南関町の電話帳の作成やぎおんさん、関所まつりや梅まつりに出店して、町の盛り上げに頑張っている。
- 県大会、九州大会、全国大会までつながる青年部のスピーチ大会に参加している。青年部活動



で得たものや仕事についての内容が多いです。スピーチは原稿を見らずに発表しないといけないので発表者は大変です。また、様々な研修会には、積極的に参加して勉強している。



- 会員になるには2代目、後継者のみだったが血縁関係がなくても大丈夫というようにした。起業した人も、年齢が合えば青年部に入れるし、企業の従業員も入れる。

Q 入って良かったことは？

- 町内はもちろん町外にも縦、横、斜めのつながりが広がる。なんか困ったことがあったら、青年部の中で解決できる。
- 研修会での勉強は自分のためになっていると思う。
- 外から帰ってきて体一つで独立開業したので、伝手(つて)も状況も分からなかったけど、南関町の生の実情



をじかに聞くことができるのが入って良かった。また地元の祭りにも関わっていきたくかったので、青年部を通じて関わっている。とても有難い。



Q 今後、南関町の商工業は、どうあるべきと考えるか。事業継承など全国に共通した課題もある中、行政への要望は？

- 人手不足を何とかしないと、企業継続できない。
- 今、サービス業は完全な人手不足なので、役場の中に求人と求職のマッチングをしてくれる窓口があればいい。ハローワークに行くまでもないような仕事とか、短期労働とか、ちょっとしたアルバイトとか。温かみのある紹介の仕方、町が紹介してくれれば安心感もあるので。
- 防災無線で求人情報流してもらっても、人が来ない。若い人達が聞いていないのではないかな。
- 若い、現役世代に求人情報が届く、方法・手段が分からない、アイデアが欲しい。
- 失業率が低いせいか、求人出しても問い合わせがない。
- 転職を考えている人はいると思うので、情報が届くようにしたい。



Q 求人のことを考える時に、一方では働き方改革に取り組んでいかないと、変わらない。どう取り組んでいるか？

- 働き方改革は重要で、残業を減らす方法を考えなければならない。
- 生産性の技術を高めたり、省力化の機械に投資したりして効果を上げている。



Q ICT化については、どう向かっていきますか？

- 町民の皆さんに町内の商店を利用してほしくて電話帳を作っているけど、今の若い人たちは、電話帳を必要としない。





写真 後列左から	田中英一朗さん [株式会社ポディーペイント]	塩山 治彦さん [塩山食品(株)]	内田 裕太さん [株式会社熊本銀行]	稗島 篤志さん [稗島建築板金]
	大里 仁志さん [株式会社エイアイホテルセキア]	大木慎太郎さん [株式会社Ooki]	廣田 渉さん [便利屋わーびい]	
前列左から	相談役 石井 翔太さん [株式会社I.S.S]	副部長 岩上 竜也さん [株式会社輝工業]	部長 永松 隼也さん [株式会社永松建設]	副部長 川上 元気さん [株式会社川上建設興業]

- お店を探すマッチングアプリというものがあるが、町内で使える同じようなアプリがあったらいいなと思う。
- キャッシュレス化も課題が多い。早くそして慎重に取り組みたい。



Q 若い世代の投票率が低い。どうしたら上がりますか。

- 私たちは意識高く、投票に行っている。同世代は、低いと思う。
- 行くように進めるが、行っても一緒、変わらないという。本人に関心がないから言っても、聞く耳持たない。
- 期日前投票にわざわざ役場に行かなければならない。
- じろじろ見られる投票場の雰囲気は悪さはなんだろう。緊張するし、あまり行きたくない場所ではない。
- ネット投票とか、ポイント制にするとか。
- BGM を流して投票場の雰囲気を変える。



「生の声を聴く」を終えて・・・

活動目的の一番が、「町を元気にすること、活性化すること」と聴いて、頼もしく思った。この町から高校がなくなり、若い人達の流出が止まらない中に、家業の担い手として、起業家としての若い人達の中に入って行くと、元気をもらう。

そんな中、若い人の特権といえば、「チャレンジが出来ること！」もしものことがあっても「再出発が出来ること」、企業のトップになってからではできないことにチャレンジすることが、トップになってからでも生きてくると言われている。そういう目線で見ると、「今までのことを受け継ぎ続ける」感が強く感じてしまった。

昨日までやっていなかった新しいことを今日はヤル。明日はもっと新しいことをヤル。時代はAI化、ビッグデータ化など、どんどん新しい技術が誕生している。新しいことを始める種はたくさんある。新しいことを実践する商工会青年部に期待したい。



広報常任委員会

南関中2年 菅原 賢人 さん



南関町に住む18才未満の人たちに、町の未来を語ってもらうコーナーです。

私が考える、南関町の未来

多くの住む南関町のいいところは、一つ目は自然豊かなところ。理由は、作物がたくさんとれて、熊本の特産物のトマトも新鮮なものを食べることができます。二つ目のいいところは、歴史のある町というところです。たとえば南関町には、日本人初のオリンピック出場者の金栗四三さんが通った今の第三小学校があります。金栗さんは、自宅からこの学校まで往復十二キロの道のりをかけ足登校したおかげで走ることが得意になったと言われています。ぼくは、この自然豊かで歴史のある南関町を大事にしていこうと思います。

ぼくの理想の南関町の未来は、今よりもっと暮らしやすい環境になっていることです。たとえば、階段のところにあるスロープや歩道のなどにある点字ブロックなど、障がい者やお年寄りの方に役立つユニバーサルデザインが、南関町のいたるところに普及すればいいなと思います。

ぼくは、この理想の南関町を実現するために、まず身の周りや自分自身を見直し、そして、人に親切にできるような人になろうと思います。

議会傍聴しませんか

9月定例議会の傍聴人数はのべ15人でした。

9月6日(金)：6人、9日(月)：5名、12日(木)：4名

次回は、12月定例議会

●どなたでも傍聴できます。 ●定員30人

議会日誌

■8～9月

- ・8/1(木) 広報常任委員会
- ・8/9(金) 全員協議会
- ・8/14(水) 文教厚生常任委員会、広報常任委員会
- ・8/20(火) 総務産業常任委員会
- ・8/21(水) 議会運営委員会、全員協議会、臨時議会
- ・8/29(木) 議会運営委員会
- ・8/30(金) 玉名郡町村議会議員研修会と町議会議員親善球技大会
- ・9/6(金)～12(木) 9月定例議会
- ・9/9(月) 文教、総務、広報、各常任委員会
- ・9/10(火) 全員協議会
- ・9/11(水) 全員協議会
- ・9/20(金) 議会運営委員会、全員協議会、臨時議会、総務産業常任委員会

■年間スケジュール

定例議会 4回……3月・6月・9月・12月
 閉会中は、懸案事項を各常任委員会で調査研究
 します。他に全員協議会や臨時議会、陳情、請
 願に対する審査・視察・研修などを行います。

テーブルイク



2020年2月23日(日)

『第4回いす-1GP 熊本南関大会』

大会コンセプト

『ばか、やろう。まだ本気出してないだけの君へ』

いす-1GPとは、2時間の間に事務いすを使っ
 てコースを何周走れるかを競う耐久レースです。
 途中でタイヤがとれたり、背もたれも壊れたり、
 最後にはタイヤの足の根元から折れたりしま
 うほどの過酷なレースです。

南関町では、商店街の賑わいを創出し、町の活
 性化に繋げるイベントとして、過去3回にわたり
 「いす-1GP 熊本南関大会」を開催してきました。
 九州唯一の大会として、また他所にない難関コ
 ースとして認知され、町内をはじめ九州各地、全
 国からも出場される大会となりました。

今年度は町民有志が主体の運営体制に変わり、
 身の丈に合った規模、町民の皆さんに愛される
 企画となるよう現在準備が進められています。
 小学生のレースも新設されます。地域で職場で
 仲間チーム編成をお願いします。

募集は先着順12月1日から (北原)

□発行責任者

議長 橋永 芳政

□編集(広報常任委員会)

委員長 中村 正雄

委員 北原 浩一郎

副委員長 西田 恵介

委員 鶴地 仁